

2024年5月 第2号

みらいく木育レター

みらいくの木育テーマ

「自然と遊びながら 自然から学び 自然と共に心と体が育つ」



つちざわの森

2024.5.23 下見レポート

おもいのままに

参加した先生の感想

色々な植物、木、花が多い。空気、風、匂い、空、感触、音、全て感じられた。ただ歩くだけでも、発見をおとな以上に子どもはすると思います。その感じたことを表現する言葉は、何なのか。知りたい。擬音語なのか。具体的になるのか。大人も子どもと同じように表現してほしい。思ったままに。擬音語でも良いと思います。（園長）

とにかく癒やしになりました。また、ゆっくりと歩いて散策する事はなかなかない機会だったため虫や草花を発見して調べたり、香りを嗅いだりとたっぷりと時間を掛けて散策できたことがとても楽しかったです。ネイチャーゲームも教えてくださり、何気ないことを五感で感じて楽しめる工夫があり、木育のハードルが下がりました。鳥のさえずりは、都会では車の音でかき消されてしまい、感じる事ができなかったので、沢山のさえずりを聞いて鳥も探したくなりました。（園長）



「なにこれー！」発見の驚きと喜び

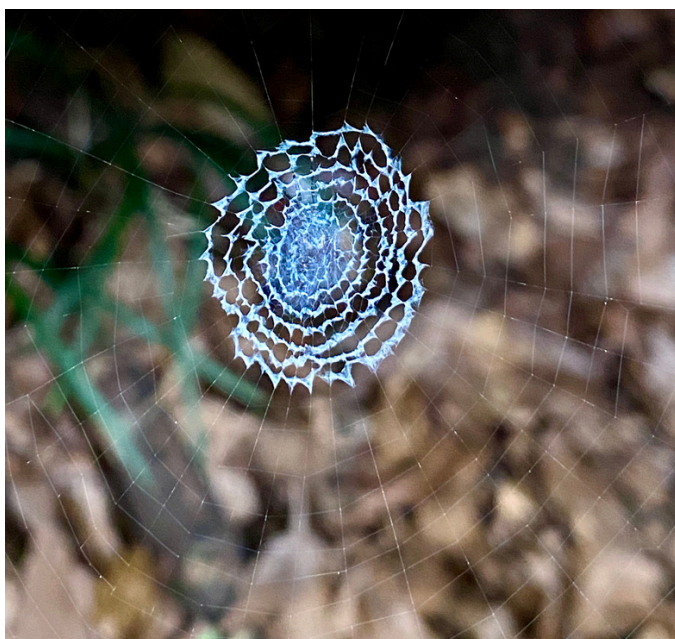


スターウォーズに出てきそうな顔に見えると私は思ったが、“オカタツナミソウ”漢字で書くと丘立浪草。つまり波立つ様子に似ているということらしい。花が終わると、萼（がく：花の外側にある、葉の変化した器官）は皿状になって口を閉じる。花の下に見えるのがそれか。その中で実が熟すと黒い種を散らす。次に見るときには種になっているかな？



今日一番の「なにこれ!?」だったかもしれない。ハナイカダ（花筏）山に住んでいるくせに初めて見た私。初めて見たのではなく、初めて気が付いただけかもしれない。「なんでついでなのとついてない葉があるの?」「これからどうなるの?」あーだこーだとみんなで言い合う。答えは誰も知らない。でも楽しい。

駐車場から森に向かう道の脇には細い川が流れている。前は気が付かなかったトンボが!「今トンボ?」「羽が閉じてるのなんで?!」先生たちのなんでなんでが止まらず、Google先生で検索。イトトンボらしい。4月下旬～10月に見られるけど成虫の寿命は1～2か月。儂い命だ。蚊や蛾を食べると言うから、森歩きのお供に連れ歩いて活躍してくれたら嬉しいな。



綺麗!
なにこれ!

何かが浮かんでいるように見えたけど、近づいてよく見たら蜘蛛の巣だった。レースの裏に隠れている。“ウズグモ”帰ってから調べたら面白くなってきた。

森は暑くもなく寒くもなく、散策するには最高の気温。人間にも心地よいが、その他の生き物たちだってそうなんだろう。3月よりも明らかに周りを飛ぶ虫や土の上で動いている生き物が多い気がした。蚊、蜂、蝶、トンボ、アリ、トカゲ・・・他にもたくさん。自宅に虫が1匹出たら大騒ぎだけど、ここでは「人間だけが生きてるわけじゃない」という当たり前のことを体感できる。出発前に先生たちに「蜂が来たらじっと止まってね。攻撃したいわけじゃないから」と説明。山頂で大きな蜂がブンブンしていてもじっとして「早くお花探してね～」と呟きながらお互い邪魔をせず、一瞬だけど蜂と共存できた気がした。

今日のネイチャーゲーム『わらしべウォーク』

まずは近くにある自然物を1つ選んでスタート。（わらしべ長者のお話にちなんで藁から始めるのがスタンダード）森を散策しながら、新しく素敵なものを見つけたら、元々持っていたものと新しいもの、どちらか1つを選んで、もう1つは「ありがとう、さようなら」と自然にお返しする。少し楽しんだら今持っているものについて、メンバーにシェアする。自分が素敵だと思うものとの出会い、1つだけ選ぶことに込める思い、自分の特別なものをみんなに紹介することを楽しんだ。